

2015年3月期 上期 (2014年4月～9月) 決算説明会

2014年10月28日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鐵住金ソリューションズ株式会社

2015年3月期上期 連結決算ハイライト

(億円)

	2014/3期 上期実績 A	2015/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	2015/3期 上期見通し(4/25) C	対見通し 差異 B-C
売上高	815	949	+134	860	+89
業務ソリューション	461	563	+101	480	+83
基盤ソリューション	98	103	+5	100	+3
ビジネスサービス	255	283	+28	280	+3
売上総利益	155	186	+31	165	+21
<売上高総利益率>	<19.0%>	<19.6%>	<+0.6%>	<19.2%>	<+0.4%>
販管費	110	116	+6	117	-1
営業利益	45	70	+25	48	+22
経常利益	47	72	+25	50	+22
当期純利益	25	42	+18	27	+15

2015年3月期上期 サービス・顧客業種別の売上高



(億円)

	2014/3期 上期実績 A	2015/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	375	467	+91	
産業・流通・サービス	199	240	+41	ネットビジネス向け好調 製造業のグローバル案件増
金融	121	162	+40	メガバンク向け及び証券向けの増
社会公共他	55	65	+10	官公庁基盤エンジニアリングの増
基盤ソリューション	87	91	+5	基盤刷新・統合及びVDI/DaaSの増
ビジネスサービス	254	283	+29	新日鉄住金向け増
子会社等	99	108	+9	国内子会社・海外子会社の独自案件の増
合計	815	949	+134	
受注高	848	970	+122	

2015年3月期上期 サービス・顧客業種別の売上高 4/25見通しとの差異



(億円)

	2015/3期 上期見通し(4/25) A	2015/3期 上期実績 B	対見通し 差異 B-A
業務ソリューション	390	467	+77
(産業・流通・サービス)	(205)	240	(+35)
(金融)	(140)	162	(+22)
(社会公共他)	(45)	65	(+20)
基盤ソリューション	90	91	+1
ビジネスサービス	280	283	+3
子会社等	100	108	+8
合計	860	949	+89

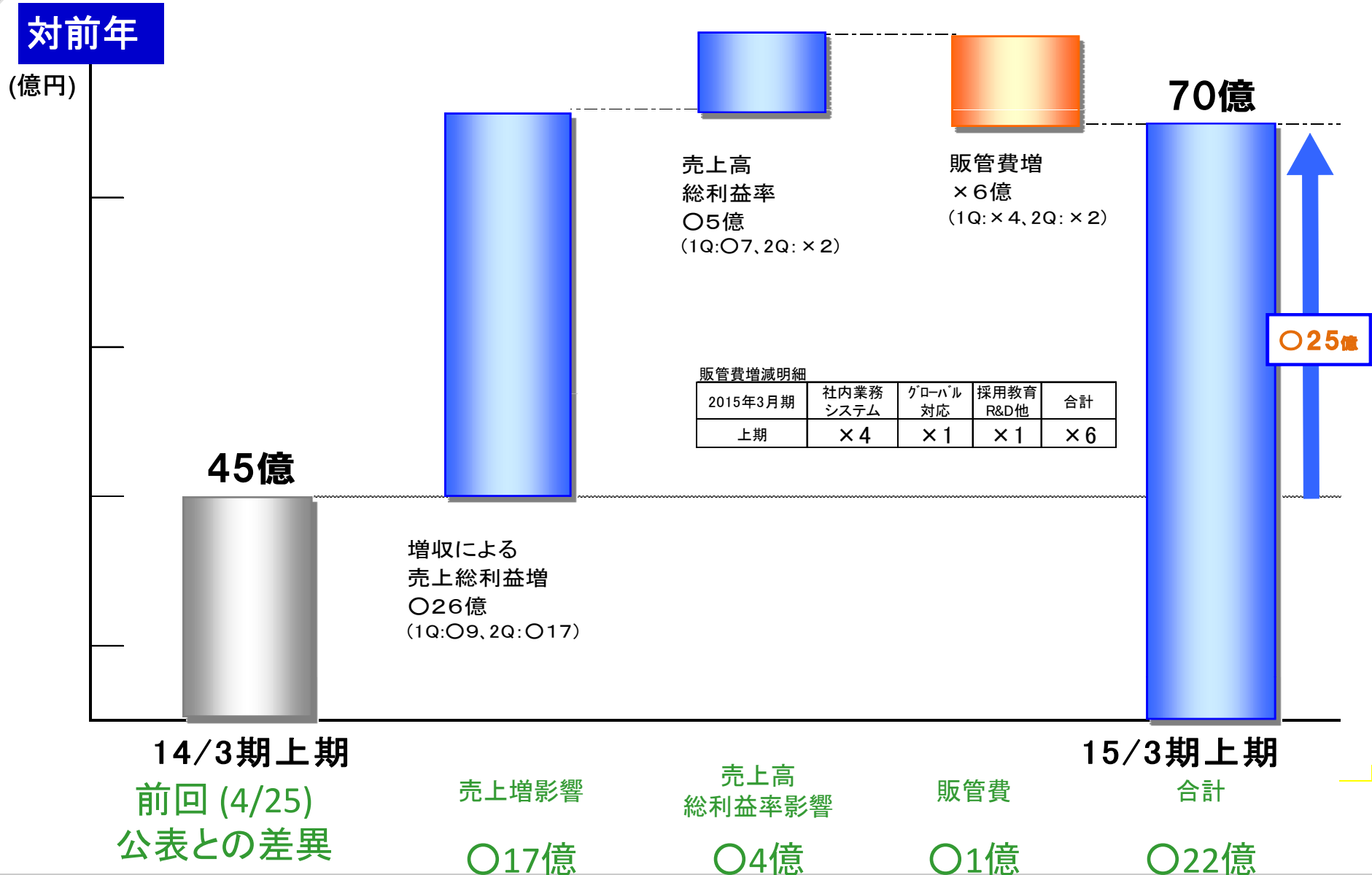
システム投資の堅調な回復を受け、産業、流通・サービス、金融、社会公共の各分野において受注が好調であり、プロジェクトの前倒し実行も進んだ結果、前回(4/25)公表値に対して連結・個別とも業務ソリューション事業を中心に売上が増加しました。

2015年3月期上期 四半期別連結業績






(億円)

	2014/3期上期			2015/3期上期			対前年		
	1Q実績 A	2Q実績 B	上期実績 C	1Q実績 D	2Q実績 E	上期実績 F	1Q差異 D-A	2Q差異 E-B	上期差異 F-C
売上高	399	416	815	448	501	949	+49	+85	+134
業務ソリューション	217	245	461	255	308	563	+38	+63	+101
基盤ソリューション	51	47	98	50	54	103	-1	+7	+5
ビジネスサービス	131	124	255	143	139	283	+12	+15	+28
売上総利益	73	82	155	89	97	186	+16	+15	+31
<売上高総利益率>	<18.3%>	<19.7%>	<19.0%>	<19.8%>	<19.4%>	<19.6%>	<+1.5%>	<-0.3%>	<+0.6%>
販管費	55	55	110	59	57	116	+4	+2	+6
営業利益	18	27	45	30	40	70	+12	+13	+25
経常利益	20	27	47	31	41	72	+11	+14	+25
当期純利益	9	16	25	17	25	42	+8	+9	+18

2015年3月期上期 連結営業利益対前年同期分析



サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	製造業はPLM(*1)や生産管理等、モノづくりのコア領域への戦略的なシステム投資が活発。ネット系・小売流通は堅調なIT投資が継続。	
金融	メガバンクでは、海外展開を含め中期的な成長戦略を踏まえたIT投資拡大が継続。証券向けも回復。	
社会公共他	官公庁大規模基盤エンジニアリングでは厳しい競争が継続。	
基盤ソリューション	統合基盤構築・刷新の需要は堅調。VDI(*2)/DaaS(*3)・MDM(*4)等の端末統合管理の需要も拡大。	
ビジネスサービス	鉄鋼関連は統合対応により高水準。DC運用・アウトソーシングサービスは引き続き堅調。テレコムは厳しい事業環境が継続。	

*1:PLM:Product Lifecycle Management

*2:VDI:Virtual Desktop Infrastructure

*3:DaaS:Desktop as a Service

*4:MDM:Mobile Device Management

2015年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2014/3期 実績 A	2015/3期 見通し(10/28) B	対前年 差異 B-A	2015/3期 見通し(4/25) C	対見通し 差異 B-C
売上高	1,800	1,950	+150	1,880	+70
業務ソリューション	1,077	1,175	+98	1,105	+70
基盤ソリューション	213	215	+2	215	-
ビジネスサービス	510	560	+50	560	-
売上総利益	345	377	+32	362	+15
<売上高総利益率>	<19.2%>	<19.3%>	<+0.1%>	<19.3%>	-
販管費	220	225	+5	225	-
営業利益	124	152	+28	137	+15
経常利益	128	155	+27	140	+15
当期純利益	71	92	+21	82	+10

2015年3月期 上下別連結業績見通し

(億円)

	2014/3期		2015/3期		対前年	
	上期実績 A	下期実績 B	上期実績 C	下期見通し D	上期差異 C-A	下期差異 D-B
売上高	815	985	949	1,001	+134	+16
業務ソリューション	461	616	563	612	+101	-3
基盤ソリューション	98	115	103	112	+5	-3
ビジネスサービス	255	255	283	277	+28	+23
売上総利益	155	190	186	191	+31	+1
<売上高総利益率>	<19.0%>	<19.3%>	<19.6%>	<19.1%>	<+0.6%>	<-0.2%>
販管費	110	111	116	109	+6	-2
営業利益	45	79	70	82	+25	+3
経常利益	47	80	72	83	+25	+2
当期純利益	25	46	42	50	+18	+4
期首受注残	784	818	852	873	+68	+55

2015年3月期上下別 サービス・顧客業種別の売上高

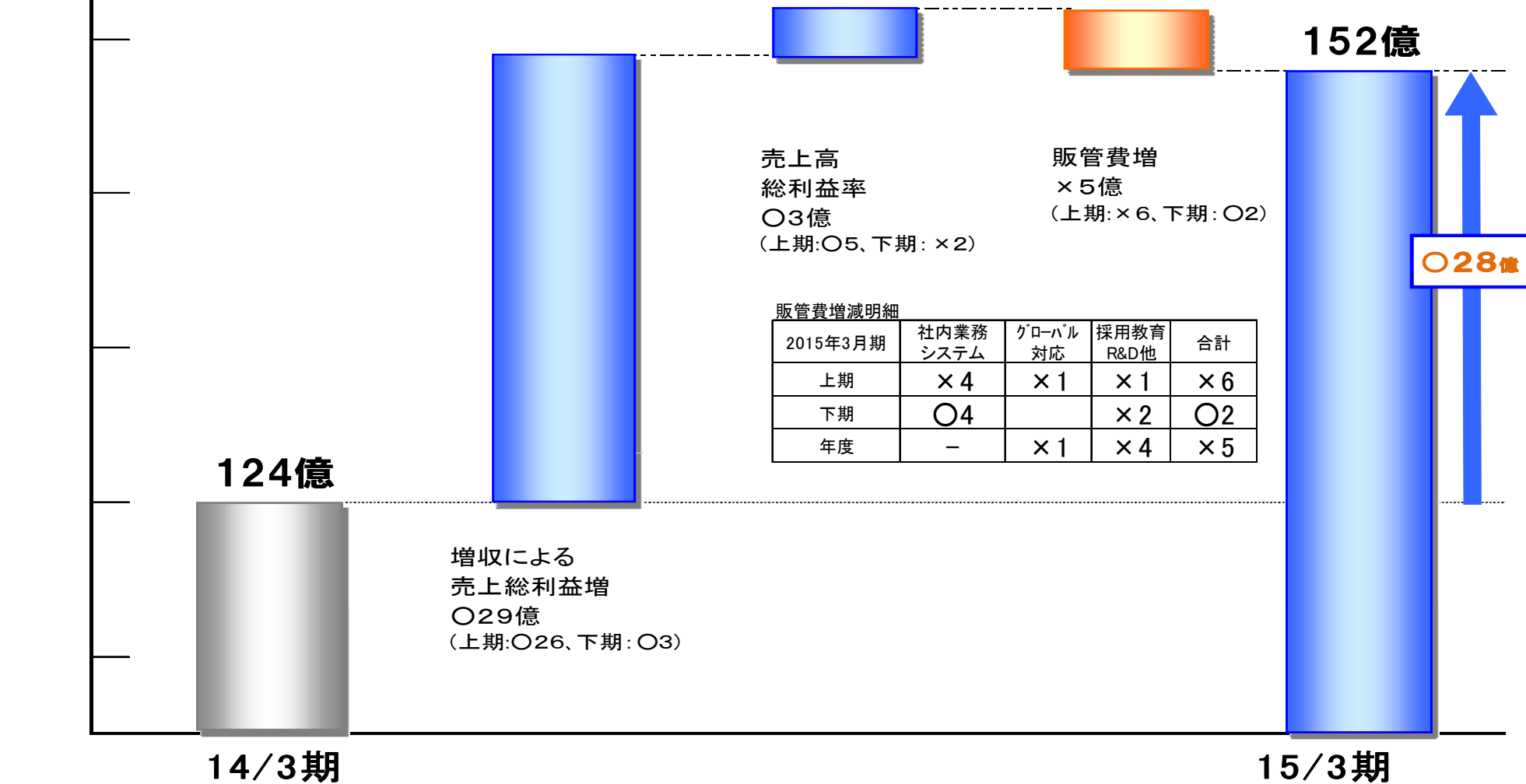
(億円)

	2014/3期		2015/3期		対前年	
	上期実績 A	下期実績 B	上期実績 C	下期見通し D	上期差異 C-A	下期差異 D-B
業務ソリューション	375	518	467	510	+91	-7
産業・流通・サービス	199	227	240	240	+41	+13
金融	121	156	162	148	+40	-8
社会公共他	55	135	65	122	+10	-13
基盤ソリューション	87	100	91	97	+5	-3
ビジネスサービス	254	254	283	277	+29	+23
子会社等	99	113	108	117	+9	+4
合計	815	985	949	1,001	+134	+16

2015年3月期 連結営業利益対前年同期分析

対前年

(億円)



2015年3月期の主要施策の進捗状況

1. 構造的事業成長の実現

- 受注力強化と顧客深堀
- AP開発実行体制の整備
- サービスビジネスの強化
- グローバル展開の拡充
- 新日鐵住金統合Day2対応

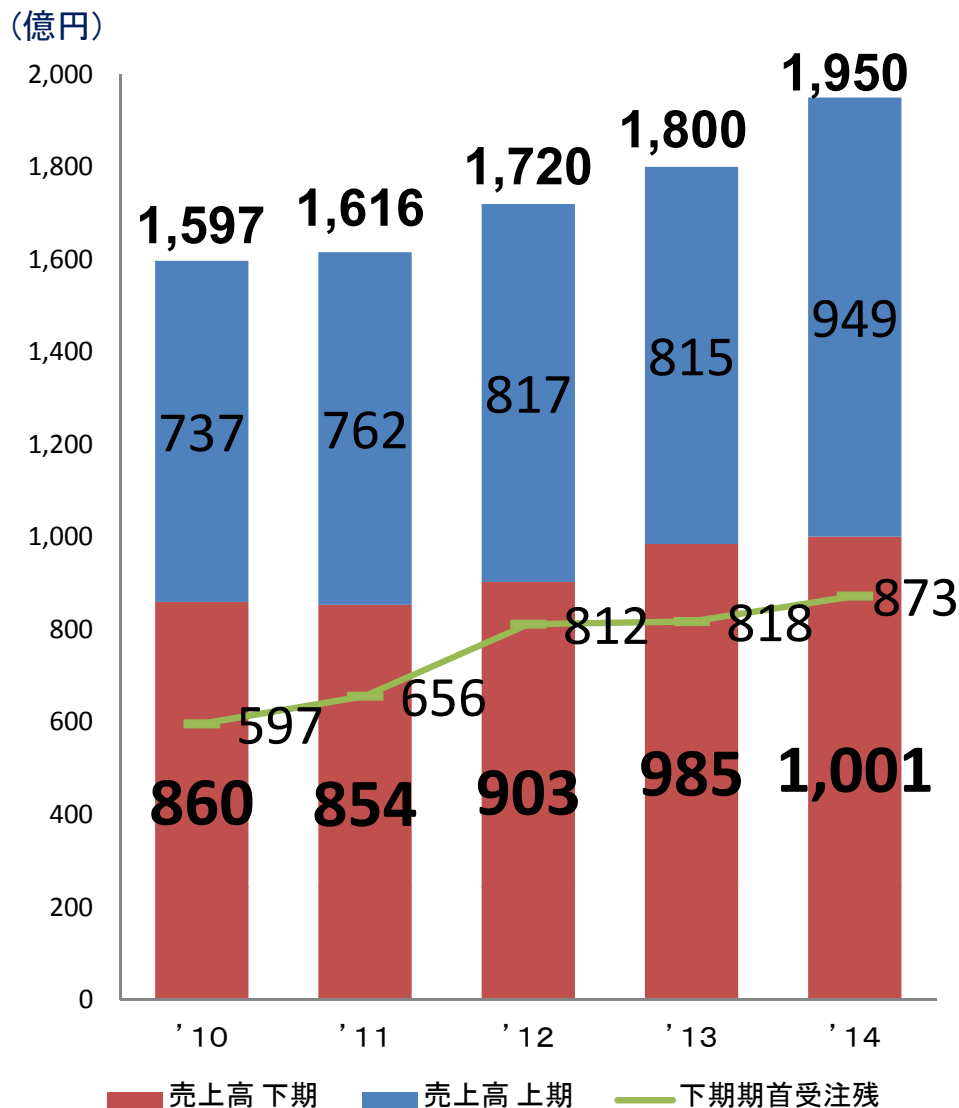
2. リスクマネジメントの強化

- 開発プロジェクトの管理徹底
- サービス事業のリスク管理強化
- 情報セキュリティ対策の強化

3. 事業基盤の整備

- 事業管理システム整備
- NSSOLアカデミー運営

受注力強化と顧客の深掘



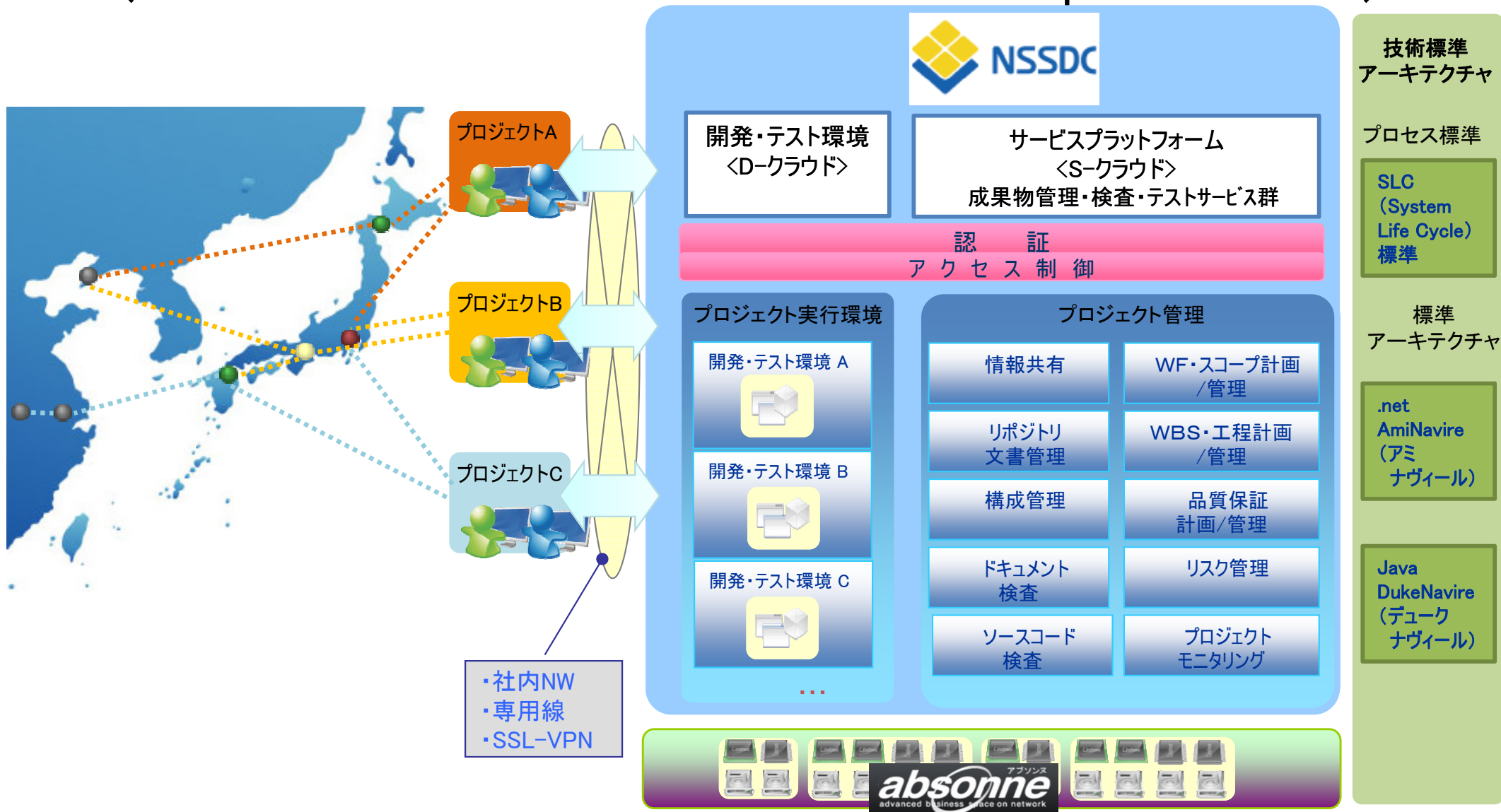
- 営業統括本部を中心とした事業部間の営業連携推進
- ITパートナー戦略に基づく顧客とのリレーション強化による長期案件の獲得



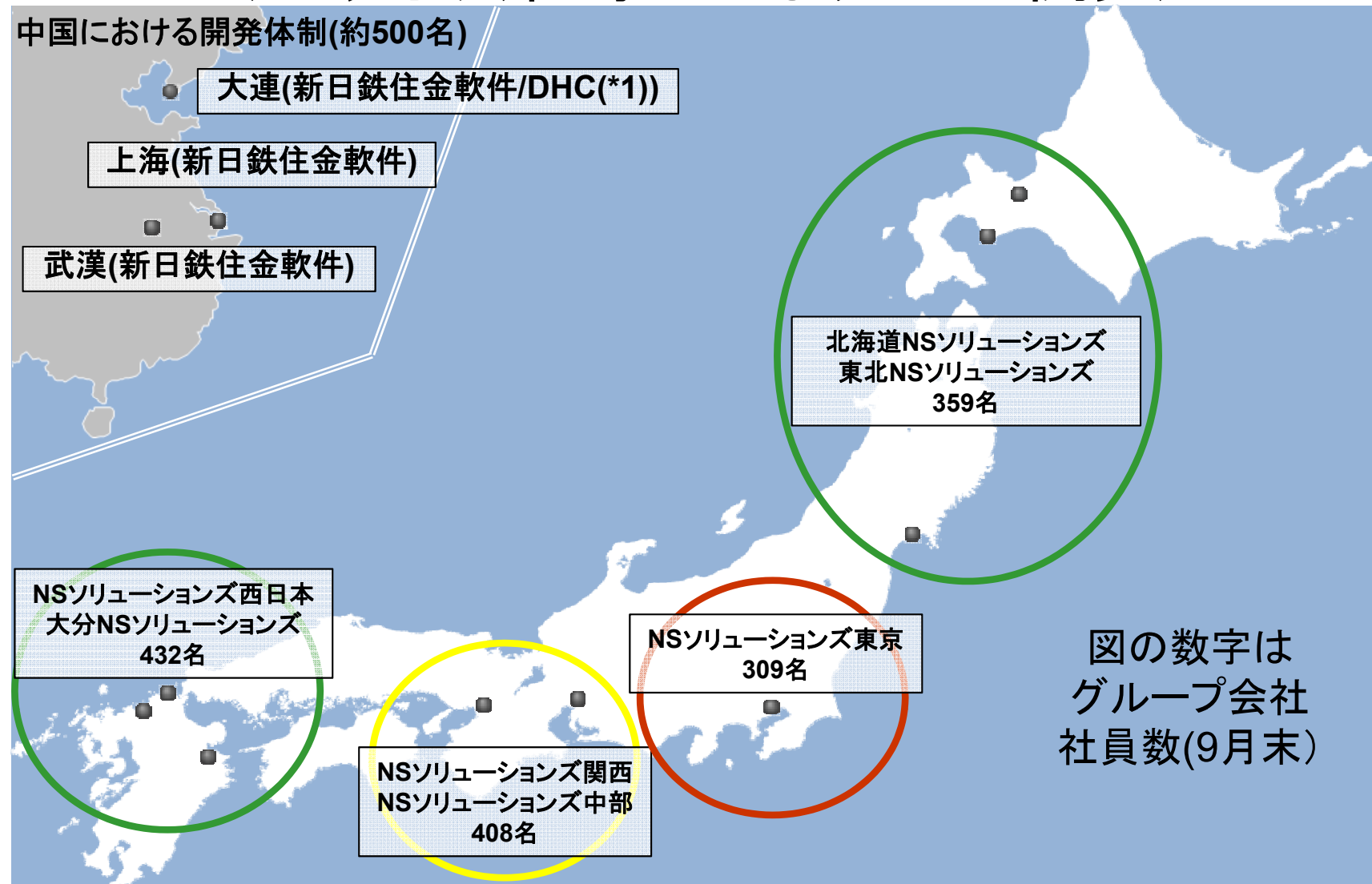
受注残積み上げによる
構造的事業成長

アプリケーション開発実行体制の整備(1/3)

(NSSDC: NS Solutions Software Development Cloud)



アプリケーション開発実行体制の整備(2/3) (地域子会社等によるリモート開発)



*1:DHC:大連華信計算機技術股份有限公司(2007年資本業務提携)

アプリケーション開発実行体制の整備(3/3) (NSSDC・地域子会社)



AP開発実行力の強化

- ・ニアショア開発、オフショア開発活用による開発量増への対応とコスト競争力向上
- ・分散開発による地域子会社リソースの最大活用/稼働平準化
- ・オフショア開発による開発ピークへの柔軟な対応
- ・各種ツール/管理機能活用による生産性向上と品質/工期の安定
- ・クラウド基盤活用による開発インフラの拡張性担保

サービスビジネスの強化

- ・**端末統合管理サービス”M³DaaS”の展開**
 - 累計受注実績：DaaS (*1)6社/VDI (*2)7社
- ・**情報基盤クラウド“NSCOCOON”の提供開始**
 - 当社情報基盤(メール・ポータル)を外販
 - 実績：日鉄住金テックスエンジ様(10,000ユーザ)
日鉄住金テクノロジー様(2,000ユーザ)
- ・**電子契約サービス”CONTRACTHUB@absonne”の展開**
 - 累計受注実績：18社

*1:DaaS:Desktop as a Service

*2:VDI:Virtual Desktop Infrastructure

M³DaaS、NSCOCOON、CONTRACTHUB@absonneは
新日鉄住金ソリューションズ株式会社の登録商標です。
(登録申請中を含む)

グローバル展開の拡充(1/3)

インドネシア

- 現地法人開業
 - ジャカルタに現地法人「PT. NSSOL SYSTEMS INDONESIA」を設立(8月)
営業開始(10月)
 - KNSS(PT KRAKATAU NIPPON STEEL SUMIKIN)のプロジェクト
対応を開始

グローバル 展開施策

- 開発標準化の推進
 - 当社開発標準(SLC標準)を英語化し、海外子会社の開発標準として展開
- 研修
 - 海外現地法人の社員を日本で研修
 - 日本人社員を海外トレーニーとして派遣

グローバル展開の拡充(2/3)

北米・中国・東南アジア・欧州の6カ国に展開 (2014年10月現在)

NS Solutions IT Consulting Europe Ltd.

London
since 2013

NS Solutions (Shanghai) Co., Ltd

Shanghai
since 2002

NS Solutions Corporation

NS Solutions USA Corporation

San Mateo, CA
since 1997

New York, NY
since 2012

Thai NS Solutions Co., Ltd.

Bangkok
since 2013

PT. NSSOL SYSTEMS INDONESIA

Singapore
since 2011

Jakarta
since 2014

NS Solutions Asia Pacific Pte.Ltd.

グローバル展開の拡充(3/3)

新日铁住金软件(上海)有限公司

(2002年10月設立)

- ・現地日系企業サポート
- ・オフショア開発・保守
- ・東南アジア向けリモートAP保守
- ・R&D
- ・中方企業対応
- ・武漢分公司設置(2013年)、40名体制(今10月)
- ・absonne for China (2014年8月サービス提供開始)

Thai NS Solutions Co., Ltd.

(2013年1月設立)

- ・タイにおける日系企業サポート
- ・PALSYS社買収(2013年10月)、タイNSSOLへ統合(2015年1月社員全員の移籍完了予定、60名体制)

NS Solutions Asia Pacific Pte. Ltd.

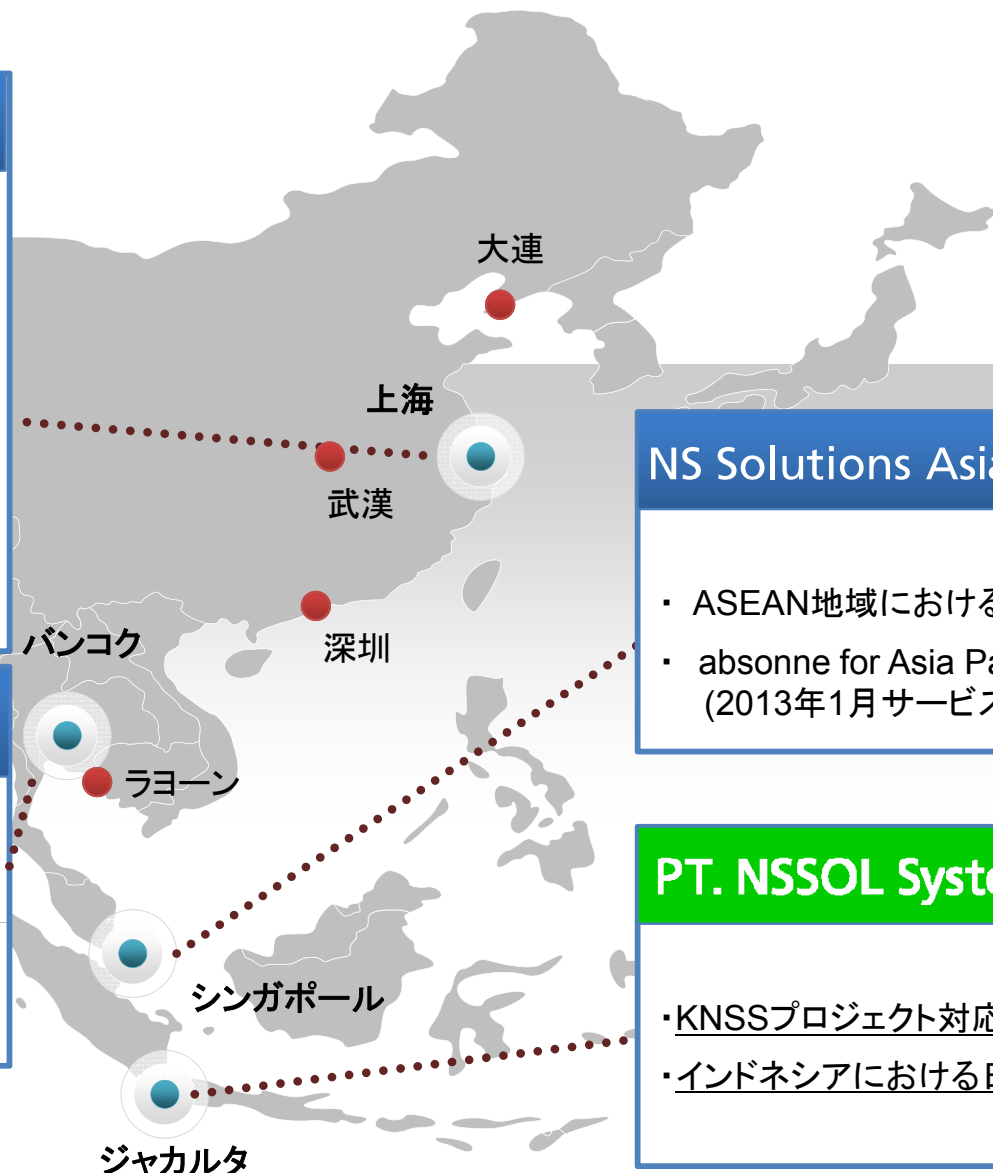
(2011年12月設立)

- ・ASEAN地域における日系企業サポート
- ・absonne for Asia Pacific (2013年1月サービス提供開始)

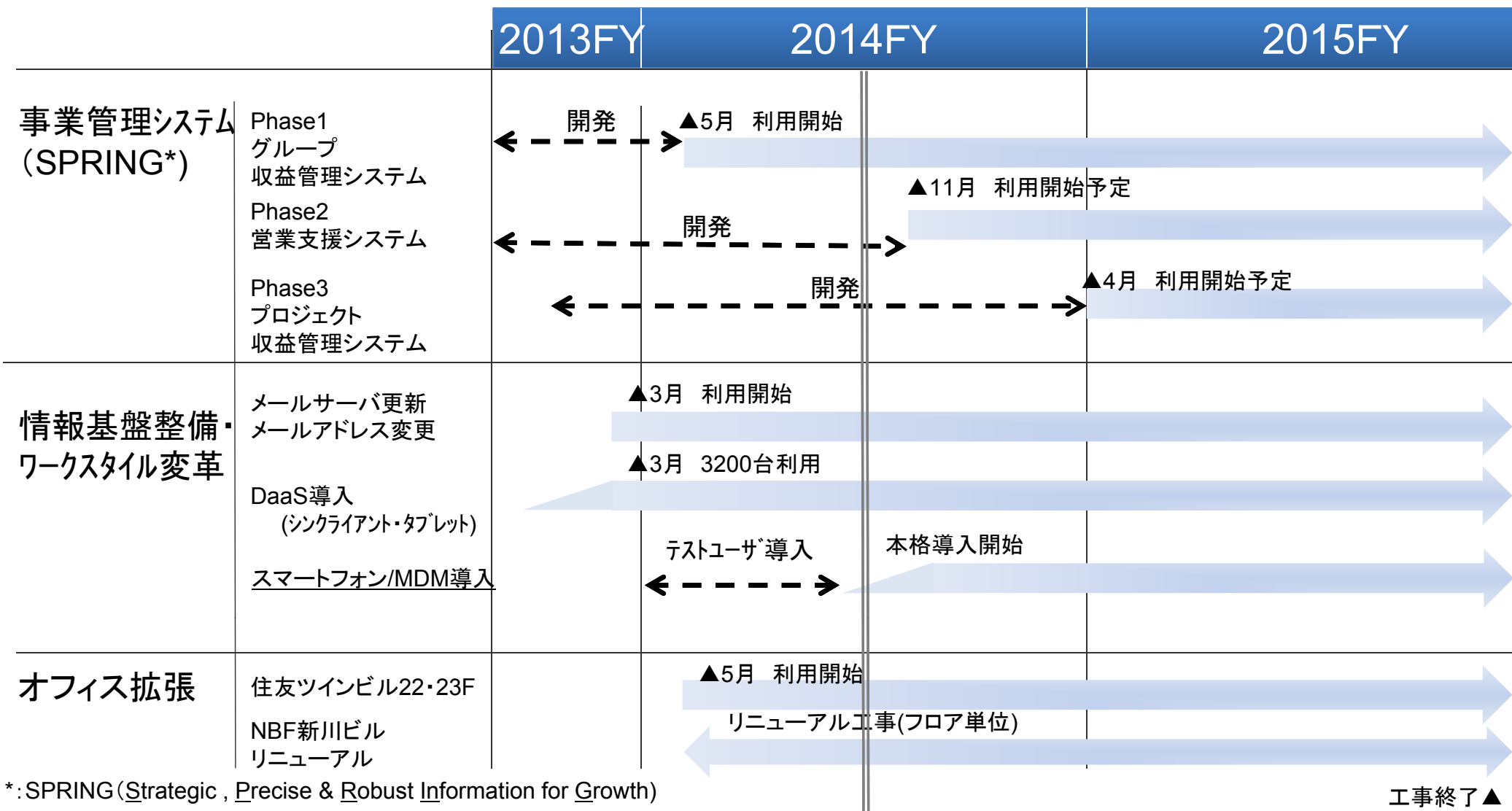
PT. NSSOL Systems Indonesia

(2014年8月設立)

- ・KNSSプロジェクト対応
- ・インドネシアにおける日系企業サポート



事業基盤の整備



*: SPRING (Strategic, Precise & Robust Information for Growth)

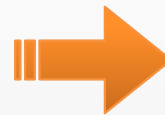
工事終了▲

配当方針

- 安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- 株主への利益還元

1株当たり年間配当金の計画

2014年3月期
40.00円



2015年3月期
45.00円

第2四半期末、1株あたり22.5円を配当いたします。

期末、1株あたり22.5円を配当する予定です。

これにより、年間配当金は、当初公表通り、1株あたり45円となる見込みです。

上期以降主要プレスリリース①



- 4月3日 新日鉄住金ソリューションズ、Jリーグの2014年試合日程の作成を組合せ最適化ソリューションで支援
- 4月10日 本田技研工業株式会社、Adobe Experience Managerを採用
大規模なWebサイトを管理・運営するためのワークフローを構築し、カスタマーエクスペリエンスの向上を通じてブランド価値のさらなる強化を目指す
- 4月15日 HTML5 Japan Cupにゴールドスポンサーとして協賛
- 5月8日 新日鉄住金ソリューションズ、ハイブリッドクラウドの利用をベースとした構築／運用サービスを拡充し、ITシステムの効率的な運用を推進
- 5月14日 丸紅株式会社様 アプリケーション仮想化で海外利用を含む7,000人を想定したモバイル環境のセキュリティと利便性を向上
- 5月29日 新日鉄住金ソリューションズ、統合データ分析サービスの高度化に向けて日本オラクルと共同検証を実施
～Oracle Advanced Analyticsを用いた大規模データ分析のプロセス確立に向け連携～
- 6月9日 新日鉄住金ソリューションズ、スマートグラスの現場利用に向けた導入検証サービスを開始
- 7月10日 企業価値を高める電子契約を導入しやすくする「CONTRACTHUB@absonne ライトパック」を発表

上期以降主要プレスリリース②



- 7月24日 新日鉄住金ソリューションズ、Oracle Database のビッグデータやクラウド基盤での活用支援に向けて「Oracle Databaseクラウドソリューションセンター」を設立
～Oracle Database 12cの先進的な活用とデータベースセキュリティの強化を支援～
- 7月31日 中国国内向けクラウドサービス“absonne for China”を提供開始
- 8月28日 商船三井様 本社会計及び基幹業務系システムを新日鉄住金ソリューションズのマネージド・クラウドサービス "absonne Enterprise Cloud Service"で稼働開始
- 10月9日 新日鉄住金ソリューションズ、データ分析統合環境Data Veracilによるデータ分析コンサルティングサービスの提供を開始
- 10月9日 企業の守るべきセキュリティやコンプライアンス対策を標準化した、企業向け情報基盤クラウド"NSCOCOON"の提供を開始。
- 10月23日 新日鉄住金ソリューションズがインドネシアに現地法人設立

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.nssol.nssmc.com/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。